



第 7 号

発行所
坂田郡近江町飯12-3
天の川沿岸土地改良区
☎(0749)52-0067代



揚水施設整備事業建家(ポンプ場)



ほ場整備事業 能登瀬工区

かん排の基地 — 建家竣工
東部地区も着々



新年度事業にあたり

理事長 粕 渕 光 夫

五月の風薫る好季を迎えました。組合員の皆様にはご健勝で、植付時に入り大変にお忙しい毎日であらうと洞察いたしお慶び申し上げます。

日頃は当改良区の事業運営に対し格別なるご協力ご支援を戴き、深謝いたしますと共に厚くお礼を申し上げます。

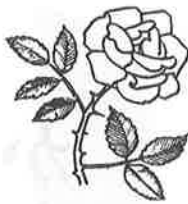
さて昭和六十年度の事業執行も皆さん方のご協力のお庇と、役員一致協力の中で恙なく終了をいたしましたし、新たに、昭和六十一年度事業計画の着手する準備段階に入っています。

経済の安定成長への移行と共に、農業のもつ役割も変化をして参りました。一方、国や県の財政状況の悪化により、異例にきびしいものがあり、予算削減は三年連続であり、農業基盤整備費は、前年比九八%前年比一一〇億円の減少となり、これに伴う事業の遅れが問題となっております。採択された工区の執行体制、早期とりくみ等が望まれますし、ネックになっている問題を、住民として、組合員として真剣にとり組む事こそ必要であり必至に痛感をいたすものであります。

土地利用度を高めるためのほ場整備、次に環境整備と運動的に事業を進め、活力ある農村づくりこそ今の世代に於ける農業人の重要な役割であらうと思えます。

農業者自身の自主的創意工夫を活かすこと、農業基盤の足腰を強くすること、生産性の飛躍的向上等に資するための総合的なパイオテックノロジー先端技術の開発推進等の技術研究を幅広く農水省で進められる新たな機関もつくりられます。

農業のもつ構造を改善し、生産の基盤と生産の基盤との一体的整備をして、健康的で豊かで意欲と生き甲斐を持つ、活力ある村づくりを推進したいと考えます。



新年度事業の執行にあり、組合員皆々様の総力を結集して事業運営に格段のご支援とご協力を賜るべく衷心より懇願をいたします。

揚水ポンプ場建家竣工

厳粛に定礎式挙行

昨年十月着工、寒風について工事をすすめてきた県営天の川地区かん排事業の基地、揚水施設建家がこの三月二十八日めでたく竣工しました。

近江町世継地先、湖岸道路から約百米入ったところに、面積四二〇平米鉄筋二階建、屋根はびわこ風景条令に基づく県費を受けて銅板葺きの堂々たるものです。

梅のつばみがふくらみ、春雨にけむるこの日、十時三十分から長浜県事務所中橋土地改良課長をはじめ

じめ近江町米原町長、地元区長、工事請負の(株)材信工務店社長北居設計(株)社長ほか役員等出席のもと十時三〇分から厳肅に定礎式を執行二十一世紀へ向けて地区農業用水の基地としての万全の基礎を固めることができました。

引き続き修抜式にうつり来賓三十名の祝福のなか、地区内、用水の豊潤と、農業生産性の向上による組合員の永遠の繁栄を祈念しました。

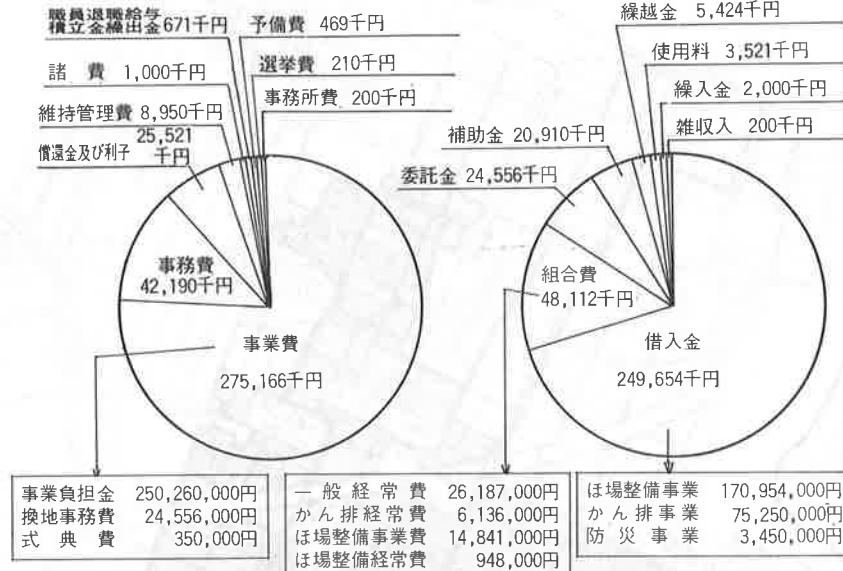
には、びわ湖沖合取水口から延長一九八メートル、直径一六〇センチの導水管を伝ってきた湖水が満々として吸い上げの日を待っています。本年は、この新装の建家内にとりあえず直径四〇〇ミリの揚水機二基を据えつけ六十二年四月の一部送水開始に備えます。建屋内にモーターのウナリが響く日が早く到来することが待たれます。



昭和61年度一般会計予算 予算総額3億5,437万7千円

【支出】 354,377千円

【収入】 354,377千円



一般会計六十一年度収支予算 第三十二通常総代会で議決

昭和六十年年度通常総代会が三月十八日当改良区で開催されました。総代総数四十二名中三十名の出席を得て、議長に世森与喜雄氏を選出、昭和五十九年度決算の承認、一般会計予算は次のとおりです。

賦課金の納入について

現在組合員の方々には、各々所有反別割に一般経常費、かん排経常費、ほ場整備事業費、ほ場整備経常費について賦課金ということに納入していただいております。

(幸いに区長さん区役員の皆さんや各種団体役員の方々の御協力のおかげで、ほ場完納の段階になっております事は組合員の方々の深い御協力の賜であると感じております。ほ場整備で生れ変わった水田と共にこの立派に出来上った施設を子々孫々まで維持管理を行っていくために改良区の運営に欠く事の出来ない賦課金です。今後とも宣しく御願ひ申し上げます。なお、全体としての徴収率は、九九・七九%となっております。

(四月現在)

また、今年度から初めて電算による切符を発行しました。誤字、脱字などの間違いのないよう照合には念を入れていますが、誤りがありませんでした時は御連絡をよろしく願ひします。

(徴収期日)
五、六、八、十月の各二十五日
電算処理準備のため、本年限り第一期を五月に変更しました。また、ほ場整備借入償還金は三、四期に従来通りあわせて

農地転用の場合は 決済金納入が必要

当土地改良区の受益内水田を農地法第四条及第五条により水田を農地・工場用地・駐車場等に地目変更する場合には、土地改良法第四十二条第二項に定めがありますが全体計画事業の負担についての義務と組合員を保護する目的として、農地転用決済金の制度が設けられております。また、転用決済に必要な用紙書類については当改良区にあります。

なお、以上の農地転用の届出をされないままに宅地等に現況を変更されますと賦課金を引き続き納入していただかねばなりません。ご注意ください。



賦課金

1 経常賦課金 (一〇アール当り)	
普通地区	三、四〇〇円
特別地区	一、七〇〇円
かん排地区	八〇〇円
湧水地区	八五〇円
ほ場整備着工地区	四〇〇円
2 特別賦課金 (一〇アール当り)	
ほ場整備借入償還金	
世継	四、〇二〇円
宇賀野	八、二五〇円
朝妻	六、七七〇円
筑摩	五、九五〇円
中多良、下多良	三、〇五〇円
能登瀬	一、六七〇円
(以下工区(地区)当り)	
長沢	一〇七、九七〇円
上多良	四四、六〇〇円
高溝顔戸	五五、一一二円
(昭和六十一年二月末現在)	
農地転用決済金	
受益地内の田を宅地などに地目変更、地区除外する場合は、当該年度の賦課金のほかに転用決済金の納付が必要です。その金額は次とおりです。(㎡当り)	
地区別	組合員 組合員外
かん排	一六円 二一三・〇八一円
普通	六十八円 七十一・三二八円
一般	八十四円 九十四・三九九円
湧水	一七円 一七・〇〇〇円

県営天の川地区かんがい排水事業
 県営天の川西部地区ほ場整備事業
 天の川西部南地区



下多良ほ場整備組合役員名簿

組合長 竹林 源一
 副組合長 川合 泰三 区長 竹林 春雄 実行組合長 渡辺 勇

総務	評価	換地	工事
委員長 角田 勇	委員長 谷利 藤吾	委員長 北村 覚	委員長 田辺 孝夫
副委員長 増田 米男	副委員長 竹林 春雄	副委員長 角田 繁造	副委員長 角田 平八郎
委員 田辺 善衛	委員 角田 信次	委員 谷利 昇	委員 増田 弘
川辺 政雄	樋口 輝夫	増田 敏雄	谷利 義弘
渡辺 勇	角田 義明	角田 重男	竹林 三樹夫
角田 邦夫	角田 善隆	田辺 一義	角田 昌三
竹林 詮勝	田辺 善一	大橋 克己	田辺 賢吾
		角田 勝次	

実施状況図



上多良工区ほ場整備組合役員名簿

組合長 北村 千秋
 副組合長 飛戸 増造 区長 西川 勤 生産組合長 西川 広吉

総務	評価	換地	工事
委員長 中川 源右エ門	委員長 成宮 清己	委員長 北川 健児	委員長 磯崎 実
副委員長 西川 敞	副委員長 中川 昇	副委員長 北川 房吉	副委員長 西川 広吉
委員 川野 儀右エ門	委員 北村 仙三	委員 西川 勤	委員 古沢 進
西川 捨藏	西川 吉衛	樋口 三子雄	北川 昌
沢 義博	北川 光三	前田 新吾	中川 柳次
		西川 正義	

上多良工区、下多良工区、長沢工区、飯工区では、日夜役員体制づくりに努力され、次のようにほ場整備組合の役員が選出されましたので、お知らせします。

ほ場整備組合体制出来る



飯ほ場整備組合役員名簿

組合長 吉田 敬磨		副組合長 日比 繁一		役員会	
庶務会計 成宮 丈雄		副組合長 小川登志雄		組合長 吉田 敬磨	
換地	評価	工事	休耕対策	副組合長	日比 繁一
委員長 堤 俊治	委員長 川崎 捨雄	委員長 小川 一美	委員長 北村 久男	副組合長	小川登志雄
副委員長 宮崎 大	副委員長 山村 惣八	副委員長 小川 泰男	副委員長 北川泰太郎	庶務会計	成宮 丈雄
委員 須戸 和夫	委員 須戸 健治	委員 中原 武彦	委員 寺村和之介	換地委員長	堤 俊治
成宮 秀信	成宮 文博	伊部 宏	西村 勇	評価委員長	川崎 捨雄
成川 正雄	山村 寛二	野沢喜代吉	日比 清春	工事委員長	小川 一美
上田 正夫	北村 進			休耕対策委員長	北村 久男
上田 長三	福井 弘明			副換地委員長	宮崎 大
吉田英太郎	牛尾田佐太一			副評価委員長	山村 惣八
伊部 鉄雄	日比捨之進			副工事委員長	小川 泰男
日比 浅男	伊部重与茂			副休耕対策委員長	北川 嘉弘
成宮 建男					北川泰太郎
					堤 重博



長沢ほ場整備組合役員名簿

宇賀野地権者連絡員 北村 幹郎		組合長 西川 泉		庶務会計 上田 省三	
" 北村 広治		副組合長 門川 英明		" 森田 勇	
" 北村 政二					
評価	換地	工事	休耕対策	委員長	中川 寅雄
委員長 酒井 健次	委員長 北川 孫一	委員長 北沢 善弥	委員長 中川 寅雄	副委員長	上田 篤三
副委員長 高橋 礼三	副委員長 竹中 義雄	副委員長 羽淵喜代三	副委員長 上田 篤三	委員	北沢 善雄
委員 高橋 善一	委員 北居 儀平	委員 森田 善弥	委員 北沢 善雄	委員	森田 静雄
中居 信男	高橋佐治郎	小川 隆三	森田 静雄	委員	羽淵 博清
北沢 茂三	奥田 清作	北川 喜平	羽淵 博清	委員	畑中 一男
羽淵 勇治	藤居 英治	酒井 貞一	畑中 一男	委員	沢野 邦三
山下 睦夫	高橋 善一	北居 徳次	沢野 邦三	委員	北村 秀一
上田 芳雄	岡嶋 伝吉	北居 貞義	北村 秀一	委員	北沢 隆
北村 守	森田 竜平	北村 勝實	北沢 隆	委員	木沢 貢
北居 幸雄	北沢 忍	中川太郎次	木沢 貢	委員	木村与士博
森田 知次	高橋勘太郎	北村 義嗣	木村与士博		

六十一年度 事業計画

事業の 円滑な推進を！

土地改良員協議会開催

本年度の国庫補助事業の執行計画については昨年来、県、町とも協議を重ねたの通りとなっており、これが今後の県の予算執行調整により変動することがあります。

事業

揚水機 径四〇〇mm 二台

中央幹線水路 二五〇m

南幹線水路 一、一〇〇m

二、県営ほ場整備事業

(天の川西部地区)

◎世継工区 二三ha

◎宇賀野工区 一六ha

◎長沢工区 七ha

(天の川西部地区)

◎朝妻筑摩工区 六ha

◎中多良工区 二四ha

◎パイプライン工事 五〇ha

(天の川東部地区)

◎能登瀬工区 一五ha

◎高溝・顔戸工区(幹線排水路) 七〇〇m

三、河川応急対策事業(防災)

(天の川合同地区)

◎護床ブロック工事 一、一五四㎡

一、一五四㎡

ゴミを 流さないで!!

蛙の鳴き声がにぎやかな季節となり本格的な用水期に入りました。

四月十六日当改良区会議室で天の川沿岸土地改良事業関係者全員協議会が開かれました。長浜県事務所からは十二名の関係者が、また近江、米原両町首脳や、改良区職員出席のもと本年度事業の執行方針、当画する諸問題について真剣な討議が行われました。特に関係者からは、かん排事業の来年春の一部送水開始への決意が表面され、全員で本年度事業の円滑な推進を誓い合いました。

「愛護」と「節約」

暫定ポンプを効果的に

ほ場整備地区内の用水確保のため現在、暫定的に各種ポンプを据付けて用水確保をはかっています。各地区とも、それぞれの責任者に効果的な送水を願っています。動力費節約のために、たえず関係の皆様が関心を持って頂き「ムダ」な送水のないよう、又、機械類の調子を見て我が子の毎く気を付けてくださるようお願いいたします。



蛙の鳴き声がにぎやかな季節となり本格的な用水期に入りました。組合員の皆様のご協力を頂きながら職員一同用水管理のため水門の調節やパトロールに全力投球していますが、最近特に各河川、用水路ともゴミの量の多いのに困っています。写真のように、発泡スチロール、ビニール、板キレから雑草まで、ひどいもので、いたるところで、目づまりして水量の確保が困難になっています。お互いに公共の河川を大事にして「自分さえよければ」という認識を捨て、キレイな川を守ることにご協力を特にお願いたします。

役員紹介



当土地改良区役員のうち監事の山本藤雄さんが都合により退任され新たに監事として
土田要吉(七四才)さんが就任されました。
(住所 米原町三吉一〇七八番地)

朝妻圃場整備組合では、実行体制が左記のとおり役員が選出され、変わりましたのでお知らせします。

朝妻ほ場整備組合役員名簿

組合長 吉田忠兵衛				会計 相宗又兵衛			
副組合長 河瀬 駒次・荒尾太兵衛・荒尾 省吾				庶務 北村 喜重			
総務	評価	換地	工事	総務	評価	換地	工事
委員長 溝口喜代一	委員長 北村光太郎	委員長 箕田 東次	委員長 北村 幸	委員長 溝口 昇	委員長 北村 幸	委員長 箕田 東次	委員長 北村 幸
副委員長 伊吹 輝雄	副委員長 荒尾 正平	副委員長 荒尾 信一	副委員長 溝口 昇	副委員長 伊吹 輝雄	副委員長 荒尾 正平	副委員長 荒尾 信一	副委員長 溝口 昇
委員 中川 一郎	委員 中川 芳	委員 北村 正明	委員 中川 喜治	委員 中川 一郎	委員 中川 芳	委員 北村 正明	委員 中川 喜治
委員 中川 初男	委員 吉田 正信	委員 北村 幸夫	委員 中川 流治	委員 中川 初男	委員 吉田 正信	委員 北村 幸夫	委員 中川 流治
委員 北村 静男	委員 荒川 源治郎	委員 北村 古川	委員 中川 義一	委員 北村 静男	委員 荒川 源治郎	委員 北村 古川	委員 中川 義一
	委員 荒川 吉弘		委員 中川 光		委員 荒川 吉弘		委員 中川 光
	委員 北村 清八		委員 中川 光		委員 北村 清八		委員 中川 光